

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	狭隘な道路でタンク車を停車させる際サイドミラーでの確認を怠り塀に接触させた事例
3. 体験した事例の中心的要素	タンク車で救急PA出場し、現場到着時、狭隘な道路であった為、車の離合ができるようにタンク車を道路左側へ寄せて停車しようとした際、サイドミラーでの確認を怠り、道路沿いのブロック塀にタンク車左側を接触させて、タンク車左側ステップ部及びブロック塀の一部を損傷させたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	早く現場へ行かなければならないという焦りから、停車する際サイドミラーでの確認を怠った為。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年1月15日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：離合が難しい狭隘な道路
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急現場到着
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：CPA応援へ向かう途中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[40]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[23]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	AとB	発生場所と出場ルートを確認してから出場	
経過2	AとB	出場途上、傷病者CPA状態との無線を受信	
経過3	B	現着の際サイドミラーでの確認を怠る	
経過4	B	道路沿いのブロック塀にタンク車左側が接触	
経過5	A	タンク車を降りて道路左側へ誘導	
経過6	B	道路左側へ停車	
経過7	AとB	タンク車及びブロック塀の状況を確認	
経過8	AとB	所有者に謝罪し、救急現場へ向かう	
経過9	AとB	活動を終えた後改めて所有者に謝罪する	
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

その他 : 怪我人は誰もいなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

訓練を通じて、通常走行においても常に安全確認する癖付けをして、又、地水利を掌握することで緊急走行においても冷静に対応できるように心掛けている。

○装備・資機材の対策について

安全確認のミラー等を、点検時心掛けて位置調整するようになった。

○活動環境の対策について

活動の一つ一つを呼称して隊全員が把握できるよう心掛けるようになった。

○指揮・情報伝達の対策について

隊員が理解できるよう、簡潔に伝えるようにする。

